昭和63年３月
第６号

姉妹都市協会ニュース

発行／中津川市姉妹都市
友好推進協会
中津川市かやの木町２－１
中津川市役所秘書課内
0573 (66)－1111　内線307

レジストロ市を親善訪問
水害見舞を兼ねて

昨年十月十八日から十一月一日までの十五日間、市議会副議長さんをはじめとするご一行が、レジストロ市へ災害見舞を兼ね、親善訪問されました。昨年は中津川市制三十五周年記念式典に、レジストロ市長さんご一行を招待する予定でしたが、レジストロ市を流れるリベイラ河の氾濫で訪日が中止となってしまったため、当市からの渡伯となったものです。以下は訪問された皆さんのご報告です。

レジストロ市長室にてメッセージの伝達を終えて

友好の絆を永遠に

中津川市議会副議長　深谷　敏夫

此の度のレジストロ市への親善訪問に際し、岐阜県人会の山田会長、日本人会の隅田会長両氏から、親身に勝る御世話になりましたことを先づもって報告申し上げます。

伯国サンパウロへ到着して、休むひまもなく日系新聞の三社を訪問し、レジストロ市への親善訪問の目的についてお話しを致しました。翌日の新聞に写真入りで報道せられましたから、多くのブラジルの方々が、中津川市とレジストロ市との姉妹提携による友好関係を、強く感じとられたものと思っております。

レジストロ市へは予定時刻を可成り後れて到着致しましたが、隅田会長長谷川レジストロ市議長さんはじめ大勢の方々の出迎えをいたゞきました。ブラジルへ移民をし立派に成功しておられる多くの日系人の方と握手を交しましたが、そのたくましい指、固い手の甲の感触から、移民以来今日までの労苦のほどをうかゞい知ることができました。

レジストロ市役所では、市長室へ案内されました。壁際の棚には、五十五年姉妹提携を結んだときの、中津川市からの記念品である冑の置物が、丁寧に飾ってありました。

オルジーニデカルヴァーリョ市長さんが、市の幹部の方達と共ににこやかに迎えていたゞきました。訪問の第一の目的である水害見舞金と、用意してきた土産品を渡し、更に小池市長のメッセージを伝へ訪問の御挨拶を申し上げました。市長と議長が非常に感激せられ、中津川市長並びに市民の皆さんに感謝の気持ちを伝えてほしい、更に両市の友好が、何時までも続くことを願っているという御挨拶をいたゞきました。

その日の夜は深い森の中にある市長の別荘で我々を歓迎する為のパーティが催されました。御列席をされている皆さんは、市と議会の方達をはじめ、軍司令官警察署長日系人その他レジストロ市のトップの方達が顔を揃えておられ、盛大にしかもなごやかに行われました。又この席で中津川市の「おいでん祭」がビデオで招介され、市長さんも熱心に見ておられました。

パーティ中に、皆さんから色々と御話しを伺がって感じましたことは、日系人の方達が現在では政、官、学、とあらゆる分野で、めざましい活躍をしておられることに気がつきました。来年はブラジル移民八十年の記念祭が、盛大に挙行せられるということで、これにかける日系人の意気込みを強く感じました。「八十年祭には中津川市から是非来てほしい、更に老人クラブのゲートボールチームにも来てほしい」という要請をうけました。

翌日は計画通りのスケジュールを無事に終了し、帰る日に、オルジーニデカルヴァーリョ市長主催のお別れ昼食会で、隅田会長長谷川議長の声をつまらせ、感情のこもった惜別の辞をいたゞきました。私は三日間に皆さんから受けたおもてなしに対して、心から御礼を申し上げるとともに、一九八〇年に結んだ友好のきずなが、末永く続くことを願う意味の御挨拶を申し上げ、レジストロ市の親善訪問を終りました。

日系人の経営するバナナ園にて（100ha）

信望厚い日系人

中津川市議会議員　伊藤　文明

今回の渡伯は、中津川市の姉妹都市レジストロ市が水害を被ったと言うことで、お見舞の使節として訪問させて頂きました。

十月十八日に発ち、サンパウロ市へ着く迄に予定時刻が大巾に遅れたので、サンパウロの日系新聞各社への表敬訪問は、岐阜県人会長の山田充伸さんの案内で、日伯毎日新聞、サンパウロ新聞、パウリスタ新聞の三社を駆け足で訪問し、其の後サンパウロ市にお住いの岐阜県人会の皆さんの歓迎を受け、渡伯第一日を終りました。

翌日十一時半迄にレジストロ市へ到着予定でしたが、途中一寸したアクシデントがあり、予定時刻を二時間程遅れたために、レジストロ市の日本人会長の隅田さん始め、多くの方が大変心配されて、ホテル迄出迎えて我々の到着を待っていてくれまして、憩む間もなく、市庁舎に向かい、レジストロ中津川両市旗が掲げられた市庁舎で、カルバーリョ市長、市議会議長始め議員の皆さん、そして日本人会長さん等各関係者多数の中で、我が中津川市からの御見舞品、記念品等の贈呈を行いました。

この時の話しでは、リベイラ河の氾濫による冠水被害は、水の引くのに時間がかかったが、流失被害はなかったとのことでした。そんな説明を聞いてから中津川公園に案内され、一九八〇年に小池市長さんが、記念植樹された木がスクスク成長し、入念に手入が施されていて、心和む思いでした。私達は、その隣りに新しく「アラルカヨ」と言う木を記念植樹してきました。

続いて文協会館、総合運動場等の建設現場を視て廻りましたが、建設機械等の不備もあり、完成にはまだまだ時間がかかるものと思われます。その他にお茶工場二ヶ所、バナナの加工工場、ゴザ製作工場、佐々木花園、バナナ園、水牛牧場等を視て廻りましたが、総べて日系人が経営しているし、その他主要事業も日系人の経営が多く、現地人に多くの仕事を与え、信望も厚く崇拝されている様に見受ける事が出来ました。

一九一三年に第一回の先発者が入植したレジストロ植民地は、一万六千町歩で五百四十四地区に分割され、一九二〇年に満植となり、今日に至っているそうですが、これ迄には幾多の難関と浮沈にあえぎながら努力を重ね、現在では日系人が指導的立場に在る事は間違いない所でしょう。

今回の訪問を終えて、ささやかではありますが、民際外交の一翼をになうことができましたことを感謝申し上げますとともに、在伯中お世話下さった皆さま方に心からお礼を申し上げてご報告とさせていたゞきます。

日系ゲートボールチームの皆さんと

訪問を終えて

中津川市民生部長　伊佐治計佑

深谷副議長を団長とする私達三名は、昨年十月二十日から二泊三日の日程で、姉妹都市レジストロ市をサンパウロ在住の山田岐阜県人会長の案内で訪問いたしました。

今回の訪問は、昨年五月レジストロ市を貫流するリベイラ河の増水に伴う水害に対するお見舞と、両市のより一層の友好親善を深めることにありました。

最初にカルバーリョ市長さんを表敬訪問し、小池市長さんからのメッセージを伝達し、水害見舞金のほか、中津川市からの多くの贈り物を贈呈しました。

カルバーリョ市長さんは中津川市からの心のこもった贈物に大変感謝し、日程をさいて、私達の中津川公園での植樹にも参加されました。

雨の日も含めて三日間のびっしりつまった日程には日本人経営のいくつかの農場や農産物の加工々場、公共施設等十数ヶ所の視察のほか、市幹部や市議会のほか日本人会の多く方々の誠に心のこもった数々のもてなしには、唯々頭の下る思いで一ぱいでした。

又、たった三日間の訪問ではありましたが、私が肌で感じたことは・・・

一、遠くて近い国ブラジルを肌で感じ、血のつながりが、外国にいることも感じさせなかった。

二、日系一世、二世の多くの方がブラジル社会にとけ込んでいるばかりでなく、政治・経済の各分野において、指導的立場で活躍されておられることに深く感銘いたしました。

三、中でも、レジストロ日本人会（隅田弘会長）が中心となって組織している文化体育協会が、市内の体育施設の拡充強化や、文化会館の建設に中心的役割を果している点については、さすが「日本人」を感ぜざるを得ませんでした。

四、最後に、在伯日系人は勤勉で、正直で、学力も高い点がブラジル社会に認められている点が大変頼しく感じられました。

以上、私の感じたままを記しましたが、始めての海外旅行に、飛行機で三十時間のブラジルに旅し、正直いって少し遠いなぁーと感じておりましたが、レジストロ市の皆さんに接し、真に心のこもったもてなしを受け、又、貴重な体験を通じ交流のできましたことを深く感謝申し上げます。

最後に、両国・両市が今後ますます友好を深め、末永く親善に努めることを希望してやみません。

五十周年式典へ参加を!!

在伯県人会の山田氏が来訪

昨年十月二十三日ブラジルで活躍する岐阜県出身者でつくる在伯岐阜県人会（山田充伸会長）の山田彦次渉外部長が来訪されました。

今回の来訪は本年五月の県人会創立五十周年記念式典への招待状を市長、市議会議長さんをはじめ市民の皆さんに届け、式典への参加協力を求めるためにみえたものです。

山田渉外部長は岐阜市出身で、昭和三十三年に渡伯し、サンパウロ市郊外で牧場などを経営する傍ら、記念式典準備委員長も務めてみえます。

県人会の特使として訪れた山田さんは、「この五十年という有意義な年は、またブラジル入植八十年の記念すべき年にも当るので、一人でも多くの県民の皆さんに出席していたゞき、盛大にお祝いしていたゞきたい」と抱負を語られました。

式典へ参加を求める山田渉外部長と西村主任主査

※ 招待状

謹啓　時下益々御清祥のこととお慶び申し上げます。

光陰は矢の如しと申しますが、当会も先駆者により一九三七年に発会し、今年で五十周年を迎えることになりました。

この半世紀と云う有意義な年を記念すべく母県より、上松知事ご一行の御臨席を得て、下記のとおり在伯岐阜県人会創立五十周年記念式典を開催することになりました。

御多忙中誠に恐縮ですが万障繰合せ御出席下さいますようご案内申し上げます。

記

期日＝一九八八年五月二十九日午前十時

場所＝ブラジル日本文化協会講堂（サンパウロ）

従って念願の世界大会には出場できなくなってしまい、何とも申し訳ない次第です。

しかし、世界大会ではオイソレと簡単にお手合せができる訳ではありませんので、日程の一部をさいてこのレジストロにスティク一本かついで是非お立ち寄り下さい。

私共のチームと共にスティクをふり、夜はレジストロの空をあおぎながら、シュラスコ（バーベキューの大型のもの）で共に語り、共に歌い楽しい思い出にしたいと思います。お会いできる日を楽しみにしています。

一九八八年二月五日

レジストロゲートボール愛好会会長上野慶一、会員一同

ゲートボール世界大会のたより

市内千旦林の土屋伝海さんが文通を続けているレジストロ市の上野慶一さんから、ゲートボール世界大会についてのお便りが届きました。

昨日、ご丁寧なるお手紙受領しました。新しい年をお元気でお迎えの由、何よりと存じます。本年も何卒よろしくお願い申し上げます。ゲートボール愛好の皆様も新春から張り切ってゲートボールなど楽しまれておられるご様子を伺い、私共も負けじと思いを新たにしております。

先日お便りした、六月にサンパウロで行れるゲートボール世界大会の件ですが、中津川市の皆さんのチームと一戦を交えたい一心で頑張ってきましたが、一月三十一日の地区の大会へズドエステ地区、（日本の四国位の大きさで、五十チームが参加）で負けてしまいました。

訪日中止

カルバーリョ市長さんからの手紙

レジストロ市のカルバーリョ市長さんから、大変残念なお手紙が届きました。

中津川市では昨年八月の市制三十五周年記念式典に、カルバーリョ市長さんと日本人会長の隅田弘さんを招待すべく準備を進めていたところ、六月二十九日付で訪日が中止となった旨、次のようなお手紙が届きました。

「拝啓　中津川市制三十五周年のお祝いに際し、その御招待をお受けし敬愛なる貴市を訪問出来ない事を貴殿にお伝えするのを大変心苦しく思っております。

お祝いは東洋的繊細さの充分発揮されたすばらしいものとなる事を確信しており、その祭典に出席出来ない事は何とも残念な事です。

貴殿もご承知の通り我国は現在社会経済的に大変難しい状況に有り、これは我々の社会のすみずみにまで達しており経済的理由がこの御招待を受け敬愛する貴市を訪問する事の出来ない理由です。

又、悪い事に当市を流れるリベイラ河が先日氾濫し多くの市民が家を失い農地の多くが大きな被害を被りました。

三十五周年祭に出席出来ない事を深くお詫びいたします。又、お祝いのご成功をお祈りすると共に慶賀の意を表します。

敬具

エルザ・オルシーニ・デ・カルバーリョ

中津川市長殿

講座開設

第5回ブラジルに親しむ会

昨年十一月六日から十二月十一日までの間、毎週金曜日六回にわたり第五回ブラジルに親しむ会講座を開設しました。この講座は、姉妹都市友好推進協会と中津公民館とがレジストロ市との友好親善促進のため、昭和五十七年から毎年開いているものです。

講師は、東京のブラビス社に勤務されている日系二世の三浦マリエ先生で、第二回の講座から今回まで連続して講師をお引き受けいただいており、ブラジルの生活や言葉等幅広い講座が大変好評であります。

さて、今回は十六才から六十三才までの幅広い年令層の方々二十八名が、毎週熱心に受講され、中には第一回の講座から連続して受講されている人、あるいはサンパウロで生活された人、今年渡伯される人など非常に広範囲で中身の濃い講座となりました。

今回の講座の内容は、初級・中級ポルトガル語講座、ブラジル料理、歌、ダンス、ビデオ観賞等大変多種目を短時間に実施したため、受講生の皆さんには大変ご迷惑をお掛けしましたが、例年以上に熱心に受講していただきました。

講義をする三浦マリエ先生

なかでもブラジルの歌、そして最終日の料理、ダンスは大好評で講座時間の延長を希望する声も聞かれました。

水害見舞に感謝の礼状

レジストロ市の日本人会長隅田弘氏から、十月二十二日付で水害見舞のお礼手紙が届きました。

「拝啓　小池さん御夫妻には御元気にて毎日の仕事に精励中と御喜び申し上げます。さて一昨日より深谷副議長、伊藤議員、伊佐治民生部々長、山田ブラジル岐阜県人会の御訪問を受けて、毎日、雨の中をレジストロを御案内させて居ります。沢山の水害見舞を頂きまして我々一同深く感謝致して居ります。何時も何時も御高配厚く御礼申し上げます。

折角御招待されながら行けなかった事を残念に思って居ります。

今日は州農業試験場を見て午後サンパウロに向うことになって居ります。あっと言う間の滞在ですが、市長、長谷川市会議長、市会議員一同が喜んで接待して居ります。

ブラジルは我々の力で、立ち上らせたいと思って頑張ります。

終りに小池さん御夫妻及び中津川市のみなさんの御幸福と御健康を祈ります。

隅田　弘

来年度以降も多勢の人に参加していただき伯国との友好親善に少しでも寄与できればと思います。

日系移民

八十年記念式典を開催

日系移民の先駆者は一九〇八年六月十八日にサントス港に上陸した七八〇余名の第一回笠戸丸の人達で、現在の伯国日系人口は、おおよそ八十万人といわれています。

一九八八年は移民八十年を迎えるため、次のように記念式典が催されます。

なお、一九七八年に開催された七十年祭には、皇太子殿下ご夫妻をはじめとする一七〇〇余名の方々が日本から参加されました。

○開催日…六月十八日○開催場所…サンパウロ市○記念行事…記念音楽会（東京都立交響楽団）、各県の郷土芸能まつり、野球、ソフトボール大会等のほか日伯友好病院落成式を目玉事業とする予定だそうです。

（資料…サンパウロ新聞）

講座を受講して

― ポルトガル語 ―

親しむ会の熱心な受講生

今年も又、私の活動としては締めくくりとなるような、ポルトガル語講座も終了しました。

毎回秘書課の皆さんには種々お世話になりありがとうございました。

他人（ひと）に　話す時は「ボケ防止」などとうそぶいていますが、毎週予習復習もしたりして一ヶ月半学生しましたという感じです。

今回私なりに感じたことですが、講座の進み具合が高度でかつ早くなり、初回の方達は大変だったんじゃないかと思いました。焦点をその方達に合わせて上げて欲しいなと思いました。それと同時にコースを二つに分けて頂けたら（昨年のように時間帯で）先生もやりやすかったんじゃないでしょうか。何度も受講している人達の希望は「会話をもう少し」というのが多かったようでした。そうすればその点も解決されるように思えるのですが……。

もう一つ五回も受講した経験から一言書き加えたいことがあります。

講座中先生のポルトガル語での質問に対してポルトガル語で答える会話形式を尻込みする人が多いようでした。日本人は人前での行為を恥じてしまうことが（私も含めて）多すぎるのではないでしょうか。どんなにアクセントがおかしくても、単語の意味が間違っていても mesmo que se equivocar não tem importe これができなければ外国人との接点はないのですから。他国語をマスターする近道だとも思います。

いつか講座生でブラジルへの修学旅行にみんなで行けたらいいですね。

西戸　妙子

昭和62年度のできごと

- ●七月十七日～八月十四日　岐阜県主催ブラジル実習派遣団として市立阿木高校大石時也君（上矢作町出身）と県立加茂農林高校松葉信幸君（市内千旦林出身）が渡伯
- ●九月二十八日～十月九日　市内千旦林の赤尾栄作氏と西尾勉氏渡伯
- ●十月二十三日　在伯岐阜県人会渉外部長山田彦次氏来訪、在伯県人会創立五十周年記念式典への招待状を持参
- ●十月十八日～十一月一日　市議会副議長深谷敏夫氏・市議会建設委員長伊藤文明氏・民生部長伊佐治計佑氏がレジストロ市へ災害見舞を兼ね親善訪問
- ●十一月六日～十二月十一日の毎週金曜日計六日間　第五回ブラジルに親しむ会講座を中津公民館において開催
- ●市民相互の文通
- ●レジストロ市長他四十名にクリスマスカード発送
- ●五月四日　サンパウロ市の河合重旺氏来市
- ●六月二十三日　昭和六十二年度理事会開催（東京ウニベールツール㈱渡辺氏から本年予定のレジストロ市の来日が中止となった旨連絡が入る）

昭和六十三年度

会員を募集

中津川市姉妹都市友好推進協会では、ただいま会員を募集しています。

会員は

個人　一口　壱千円

法人　一口　壱万円

団体　一口　五千円です。

申し込み用紙は、市役所秘書課及び各支所と、市内各金融機関の窓口に備えてあります。

この協会の活動を盛り上げ、レジストロ市民との交流の拡大を図るため、一人でも多くの皆さんが加入して下さるようご理解とご協力をお願い申し上げます。

なお、本会について判らないことがありましたら何でもお気軽にお問い合わせ下さい。

事務局

中津川市役所秘書課内

TEL六六―一一一一

内線三〇七まで

お知らせ

姉妹都市事業についてのご意見ご希望をお寄せ下さい。